

<概要>

- 24 日、ホンジュラス国会にて、汚職・無処罰問題対策委員会（CICIH）の設置に向けた憲法改正の議決が行われ、82 票の賛成しか得られず否決された。
- 28 日、カストロ大統領は、自身の SNS で、ベネズエラ大統領選挙で再選を決めたニコラス・マドゥロ大統領に対して祝意を表明した。

<本文>

1 外交

（1）カストロ大統領のパナマ訪問

7 月 1 日、カストロ大統領は、マヌエル・セラヤ大統領顧問及びレイナ外相とともに、パナマを訪問し、ムリノ大統領の大統領就任式に出席した。

（2）日本外務省代表团とエクトル・セラヤ大統領私設秘書官との会談

7 月 16 日、大統領府で、来訪した日本外務省代表团と IAEA ミッションは、エクトル・セラヤ大統領私設秘書官兼大洋間鉄道建設国家委員会委員長と会談した。また、13～17 日の期間、日本外務省代表团と IAEA ミッションは、サンフェリペ病院の視察等を行った。

（3）CAF から 8 千万米ドルの借款

7 月 18 日、アンデス開発公社（CAF）取締役会は、ホンジュラス政府に対し「ジェンダー・社会包括促進プログラム」として 8 千万米ドルの融資を承認した。

（4）カストロ大統領によるマドゥロ大統領の再選に対する祝意表明

7 月 28 日、カストロ大統領は、自身の SNS で、同日実施されたベネズエラ大統領選挙で再選を決めたニコラス・マドゥロ大統領に対して祝意を表明した。

2 内政・経済

（1）市民団体 CNA 報告：カストロ政権のネポティズムによる権力集中の構造

7 月 2 日、市民団体「ホンジュラス反汚職評議会（CNA）」は、「権力集中のための戦略的ネットワーク」と題する報告書を発表し、カストロ政権によるネポティズムを批判する記者会見を実施した。

（2）カリクス議員・ナスララ元大統領代行の自由党入党

7 月 10 日、与党リブレ党から大統領選挙への出馬を表明しその後除名通告を受けたホルヘ・カリクス議員と、サルバドル・ナスララ元大統領代行（元副大統領）の自由党入党が正式決定した。

（３）CICIH 設置に向けた憲法改正の否決

7月24日、ホンジュラス国会で、汚職・無処罰問題対策委員会（CICIH）の設置に向けた憲法改正案の評決が行われ、82票の賛成しか得られず、改正に必要な86票に届かなかったため否決された。

＜主要経済指標＞

◇主要経済指標	2024 年		
	6 月	5 月	4 月
インフレ率（前年同月比）	4.87	4.94	4.84
貿易収支（百万ドル）	—	—	—
輸出（百万ドル）	—	—	—
輸入（百万ドル）	—	—	—
外貨準備高（百万ドル）	7,241.7	7,275.8	7,187.7
外国からの送金（百万ドル）	—	—	—
為替レート（対ドル月平均）	24.83	24.82	24.79

（出典：ホンジュラス中央銀行）

※貿易収支、輸出入、外国送金に関する公表された直近の数値（2024年3月分）は、貿易収支（▲1,410.1百万ドル）、輸出（2,740.6百万ドル）・輸入（4,150.7百万ドル）、外国送金（2,048.0百万ドル）である。

（了）